

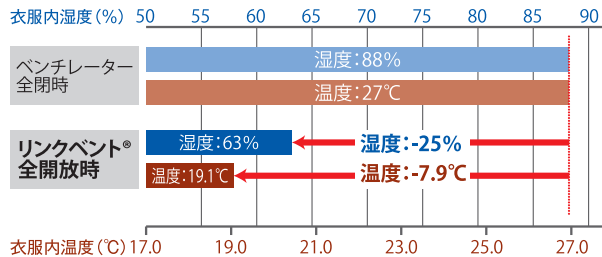


# ファイントラック

## ウェアを脱がずにマイナス8度 ダブルシェルで濡れを防ぐ

### リンクベント

アウター、ミッドシェル、ミドルレイヤーの同位置にベンチレーターを装備。すべて開放するとベースレイヤーから外へと一気に熱を逃がす。全開で、なんと約8℃の減温が可能



### ダブルシェル

衣服間の層を増やすことにより、薄手のウェアでも空気層を保って温かい。また、外気との温度差カーブが緩やかになり、結露も低減される。外だけでなく中からの濡れも防ぐ



ミッドシェルでも耐えられない場面になると、いよいよアウターシエルの出番。2枚のジャケットを重ねるダブルシェルは、荒天下でこそ真価を発揮する。フードのすき間や袖口から侵入する雨や雪も、耐水性をもつミッドシェルがブロック。外からの濡れを防ぐと同時に、ウェア内を複数の空気層に分けることで寒冷地の二重窓のような効果を発揮し、結露も低減する。

ウェア内の熱気を一気に放出する特許取得済みのリンクベントも秀逸。単体ではなく、トータルで機能させることで、より高い快適性を実現している。

ダブルシェルは、薄手のウェアでも空気層を保って温かい。また、外気との温度差カーブが緩やかになり、結露も低減される。外だけでなく中からの濡れも防ぐ

ドライレイヤーとならば重要なウェアが4枚目のミッドシェル。ウインドストッパーを使用した薄手のジャケットだ。たとえば寒冷下の急登、アウターシェルでは暑すぎ、ミドルレイヤーでは風に耐えられないという場面では、防風性と、より高い透湿性をもつこの1枚がありがたい。アプローチから下山まで、あらゆる状況で着られるのがなよりの魅力だ。

望みのアウターシェル、エバールブレスバリオの発売によってファイントラックが提案する5レイヤリングが完成した。

5レイヤリングとは、文字通り5枚のウェアを重ねること。1枚目のドライレイヤーは、強力な撥水性で濡れ戻りを防ぐ。肌から遠ざけた汗は、2枚目のベースレイヤーと3枚目のミッドレイヤーで吸収・蒸散する。

## 待

望みのアウターシェル、エバールブレスバリオの発売によってファイントラックが提案する5レイヤリングが完成した。

5th Layer

# アウターシェル

★モニター1名

## エバーブレスバリオジャケット

独自開発の新素材「エバーブレス」を使用。使い込んでも防水透湿性能を維持する耐久性や動きやすさなど、アウターシェルに求められるさまざまな要求を高度なレベルで実現した待望の一着。パンツ（2万3100円）もあり。価格＝2万7930円（Women's＝2万6775円）サイズ＝S、M、L、XL（Women's＝S、M、L）重さ＝345g<sup>※</sup>（Women's＝315g<sup>※</sup>）

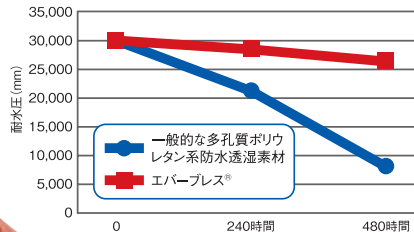


フードは後部のドロークordカープで調整可能。ぴったりとフィットし、頭の動きに追従

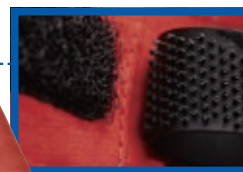


胸にはファスナー付の内ポケットを装備。サイドのリンクベントから手を入れられる

肩や肘には人間工学に基づいた立体デザインを採用。ストレッチ性に優れる素材と相まって、抜群の動きやすさを実現している



紫外線や風雨、高温多湿に連続してさらす防水耐久性テストを実施。一般的な素材に比べ、480時間経過後も優れた耐水圧を維持した



新開発の面ファスナー。オス側の先端形状を工夫し、不要なひっかかりを減らしている

4th Layer

# ミッドシェル

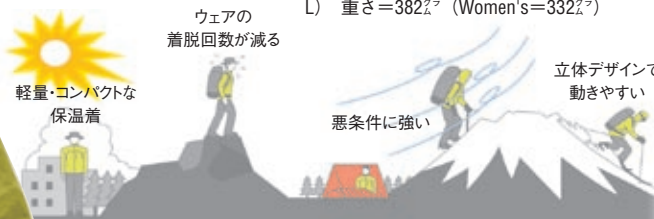
## ニューモラップフーディ

防風・耐水・透湿素材ウィンドストッパーを使用し、すでに多くの熱狂的ファンを獲得しているジャケット。常に着用できる薄手の一枚はレイヤリングの幅を広げ、安全性と快適性を大きく高めてくれる。価格＝2万4150円（Women's＝2万3100円）サイズ＝S、M、L、XL（Women's＝S、M、L）重さ＝230g<sup>※</sup>（Women's＝210g<sup>※</sup>）



## ニューモラップ EXジャケット

EXは生地を厚くし、保温性と耐久性を高めたモデル。気温が下がる秋冬の使用にオススメ。価格＝2万4570円（Women's＝2万3625円）サイズ＝S、M、L、XL（Women's＝S、M、L）重さ＝382g<sup>※</sup>（Women's＝332g<sup>※</sup>）



一日中、着たままで行動できる適応力

透湿性に優れる一着は、登山中はもちろん、登山口に向かう街中から就寝時や下山時まで使える万能選手。一度使うと手放せなくなる